



最上川200^キを歩く

はやがさばし
準橋～
おおくらばし
大蔵橋

第20回

尾花沢市立宮沢小学校
2～6年生21名



山形新聞・山形放送の8大事業の一つ「最上川200^キを歩く」は未来を担う子供達が、最上川流域を歩きながら古里の歴史や文化、治水の大切さについて学んで行くものとして、新庄河川事務所も毎年この取り組みに協力しています。第8週となる7月1日(土)は前日までの雨がやみジメジメした気候でしたが、生徒の皆さんは最後まで元気に参加してくれました。当日は排水ポンプ車を使い支川側の水を最上川へ流す「排水作業」を見学したり、排水樋管の操作室に入りどんな時に操作が必要なのかなど、河川管理の重要性や環境保全の大切さについて、体験を通して学びました。

(横山特殊堤)
下河原公園



最上川の歴史と特殊堤について学びました。



ドローンで撮影する様子に大興奮。



←ビッグフラッグは舟形町の【総合型スポーツクラブB&G】の皆さんへ引き継ぎました。



がんばるぞー!

(大石田第5排水樋管)



排水ポンプ車からの水の勢いに驚いた様子でした。



令和2年7月豪雨時の排水ポンプ車による排水作業について、とても真剣に話を聞いていましたよ。

(すいか橋下流)



河川敷では除草体験や大小の重機乗車体験をしたり、水質検査をして川の水の状態を調べるなど、河川管理に必要な作業を体験してもらいました。



インターンシップ

【新庄神室産業高校 環境デザイン科2年生4名】

6/27(火)大石田出張所管内の堤防や施設をまわり、出張所の役割や河川の管理について学びました。参加された4名の皆さんには、それぞれの目標達成のために今回の経験が活かされることを願っております。



大石田特殊堤



河道掘削工事現場



堤防除草見学



災害対策車ステーション

安全利用点検



6/26(月) 河川敷の利用が増える夏休みを前に、地域の皆さんが安全に利用できるよう危険な箇所はないか、不審物はないか等を警察・消防と合同で点検しました。今回の点検で危険な箇所はありませんでしたが、河川敷を利用される方は、ケガ等ないようにマナーを守ってお使いください。

管内業務発表会

6/21(水)22(木)の両日、仙台市の東北地方整備局において、「管内業務発表会」が行われました。大石田出張所からは、管原管理第二係長が「実効性のあるPDCAサイクル型河川管理を目指して～河川維持管理業務の効率化に向けた取り組み～」と題し、日頃の取り組みについて発表した結果、「奨励賞」をいただきました。

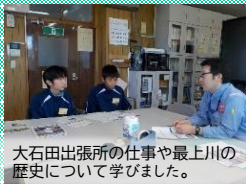


発表中の様子



職場体験学習

7月6日7日の2日間、大石田中学校の2年生2名が職場体験で大石田出張所に来てくれました。1日目は大石田出張所の仕事について説明を受けたあと、実際に現場に行き、堤防の役割や災害対応、工事監督業務について学びました。2日目は排水樋管操作や河川巡視など、河川の維持・管理について学びました。



大石田出張所の仕事や最上川の歴史について学びました。



河道掘削の工事現場では、大型重機の乗車体験をしましたよ。



堤防の役割や治水対策についてしっかり理解してくれたようです。



不法投棄物を撮影し、河川巡視システムを使って情報を報告しています。



職場体験レポート〈五十嵐 勇吾くん〉

国土交通省は8つの整備局に分かれていて、そのうち東北地方整備局の新庄河川事務所のさらに出張所が、ここ大石田出張所だと知って驚いたし、社会インフラの整備や維持管理など国土交通省が広く行っていることも初めて知りました。特に印象に残ったのは、堤防の型式と河道掘削工事です。堤防には土砂で造られた土堤と、土とコンクリートを併用した特殊堤があり、大石田の堤防は特殊堤で造られていることを知りました。工事現場では、重機を使って効率よく作業をする工夫をしていました。1日で広い範囲の草を刈る技術にも驚きました。大石田出張所での体験を生かし、将来の選択肢の1つとして考えていきたいです。



職場体験レポート〈芳賀 瑠孔くん〉

出張所の仕事は、工事の指導や監督、河川の安全を維持する管理業務などとなりました。僕は川の水が家や道路に流れてしまった時にどういった行動を取るのかを聞きました。排水ポンプ車で排水したり、ヘリコプターで洪水の様子を発信したりと、様々な方法を用いて作業をしているのだと感じました。大浦堤防では河川巡視体験として、貫入棒を使った堤防調査や、ゴミの不法投棄物のタブレット登録体験をしましたが、雨の時も冬の時も、また暑い夏でも、国の安全を守るために頑張っているんだと思いました。この2日間で、出張所では様々な作業があり、その作業を分業で協力して行っている事がわかりました。また、人々を安全に維持する取り組みをするこんな仕事をしてみたいと思いました。

水生生物調査

7/4 大石田北小学校
7/12 大石田小学校



丹生川の水質を調べてきました。結果はどうか？

場所: 岩ヶ袋地内 すいか橋付近

大石田出張所では、沿川の学校の協力を得て、水生生物による水質調査を実施しています。水生生物による河川の水質調査は、主に川底に生息している生物を採集し、生物の種類や数により、その川の水質の状況を簡易的に調べるものです。参加者が地域の身近な河川の水質状況を知ることで、河川愛護の重要性等について興味を持ち、理解を深めていただくことを目的としています。

大石田北小学校4年生12名



石の裏に潜んでいる虫をピンセットを使って採集していき、どんな虫が川に生息しているか調べます。



※採集した水生生物は、調査後に川へもどしました。

大石田小学校4年生22名



「バックテスト」という薬品を使った調査も同時に行って、水生生物調査の判定結果との検証を行います。



PH調査の結果...
緑色=中性=きれいでした!



「ナガレトビケラ」や「ヒラタカゲロウ」がたくさんとれました。これらは、きれいな水に生息する生き物です!

調査結果 → 丹生川の水は『水質階級 I (きれいな水)』と判断されました。

大石田北小学校の皆さん、大石田小学校の皆さん、ご協力ありがとうございました。



上記の活動の様子はTwitterに投稿しています。ぜひ、ご覧下さい。

国土交通省 新庄河川事務所【@shinjyou_mlit】



【発行】
国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所 大石田出張所
(担当: 本間・浅沼)

〒999-4113 大石田町大字今宿字鷺の原466-2
(TEL)0237-35-2024 (FAX)0237-35-2354

※「川通信 おおしだ」をご覧になってのご感想やご意見をお寄せ下さい。

※工事現場や河川管理施設をご覧になりたい方は、大石田出張所までご連絡ください。



ホームページもご覧下さい!
<http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou>

新庄河川

検索

